



# 沖縄県立読谷高等学校 Dreams come true!!

校長だより 第17号  
平成30年1月10日(水)  
発行者 校長 石垣有三

## ■ 3学期始業式・役員認証式 1月9日

皆さん、元日に今年一年の目標を立てたことと思います。「今年こそは・・・」の今の気持ち、絶対忘れないで下さい。「初心忘るべからず」です。それぞれの課題を把握し、解決に向け**充実した学期になることを期待**しています。3年生、いよいよ土日はセンター試験です。しっかりと**体調管理**し、万全な態勢で試験に臨んで下さい。**最後まで諦めずに!!**

ところで「将来、AIに仕事を奪われないようにするためにも、**読解力を身に付けること**」の大切さを国立情報学研究所の新井紀子教授は言っています。例えば下の問いで、高校生の約28%が間違っていたことに危機感を持っているのです。

問：「幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた。」の文が表す内容と「1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた。」の文が表す内容は同じか。「同じである」か「異なる」かで答えますが、さて、どちらですか？

## ■ 2学期終業式伝達表彰 おめでとう!!

女子ソフトボール部	県新人大会	準優勝
男子ソフトボール部	県新人大会	優勝
2-1池原立貴	第29回高校書道展	優秀賞
3-5宮城壮都	全琉小中高図作書道コンクール	最優秀賞
1-7嘉数正	〃	優秀賞
2-5久場梨穂	〃	〃
1-5友寄穂乃香	〃	〃
2-1池原立貴	〃	〃
3-7伊波蒔子	〃	〃
3-4金城ゆめの	「家庭の日」絵画ホスター	審査委員特別賞
3-6佐久川七海	〃	〃
1-8德里沙彩	英語検定	2級
2-2カストロカリ	〃	〃
2-8名城将太	〃	〃
3-8大湾諒	〃	〃
3-8系数瑞穂	〃	〃
3-8小倉友美	〃	〃
2-7澁谷夏恵	校内文芸コンクール俳句部門	天賞
3-7比嘉未来熙	〃	〃
3-4金城ゆめの	短歌部門	金賞
3-5宮城壮都	詩部門	最優秀賞
3-1仲村渠麻奈	小説部門	〃
2-4源河萌音	絵本部門	〃
3-8系数瑞穂	意見文部門	〃
3-8高江洲杏穂	〃	〃

## ■ 3学期始業式伝達表彰 おめでとう!!

2-6町田雄飛	中北部高校新人ホークリング大会	3位
2-6町田雄飛	〃	ノーマミス賞
2-5上地颯	〃	ノーマミス賞

## ■ 進学カグレードアップ推進事業参加報告

報告者：1年7組 山城あかり



10月19日(木)～10月21日(日)の3日間、進学カグレードアップ推進事業に参加しました。私は、神戸大学、京都大学、同志社大学を訪問しました。

神戸大学では実際の大学の講義を受けたり、京都大学では来

年の世界史の教科書を使って授業をしました。また、同志社大学での大学生との交流会ではサークルなどの大学生活や卒業後の進路について直接聞くことができました。

今回、この事業に参加してみて、普段ではできない貴重な経験をすることができました。

## ★本の紹介コーナー★

題名：名文どろぼう 著者：竹内政明



458文字のコラムを書く裏には、沢山の読書があるのだろう。「編集手帳」執筆者である著者は、「新聞社に籍を置いて三十年、しゃれた言葉や利いた言い回し、味のあ

る文章を、半分は仕事の必要から、半分は道楽で採集してきた。」とし、本書はその一部の紹介である。

以下、本書より-----

◆憲法に好きな条文がある。内容というより俳句調、五七五の調べが気に入っている。「学問の自由はこれを保障する(日本国憲法二三条)」

裁判所判事たちの随筆集には玄人好みの渋い例が二つ引かれてあった。

「相続は死亡によって開始する(民法八八二条)」

「こじきをし又はこじきをさせた者(軽犯罪法一条二二号)」

◆刑務所内の人間模様を描いた安部穰二さんのベストセラーに、岩崎老人という年季の入った受刑者が登場する。親を泣かせていることを気に病む安部さんをいたわってか、「親孝行しようなんて、そんなことは考えなくてもいいのだ」と老人が言う。

「誰でも、生まれた時から五つの年齢までの、あの可愛らしさで、たつぷり一生分の親孝行はすんでいるのさ、五つまでの可愛さでな。(安部穰二「堀の中の懲りない面々」)」

◆国文学者の池田彌三郎が夫人と福島県のひなびた温泉に旅したときのこと。夕方、宿の下駄をつっかけ、散歩にしようとした。すると、宿屋の番頭が玄関のところで、

「じいさん、ばあさん、お出かけ」と大声で怒鳴ったという。自分は確かに若くないが、じいさん、ばあさんと呼ばなくてもいいだろうと思いながら、一回り散歩して帰ってきたところが、再びその番頭が「じいさん、ばあさん、お帰り」と言った。池田氏はつかつかと番頭の前行き、「きみ、いくら何でもぼくたちをじいさん、ばあさん呼ばわりすることはないだろう。少しは違った言い方があるんじゃないか」と抗議した。すると今度は番頭の方が面食らった表情で、そんなことを言った覚えはないという。一体どういうことかと思っ

てみると、池田氏の泊まった部屋の番号が三番だった。「ずうさんばんさんお出かけ」と言ったのである。(金田一春彦「日本語を反省してみませんか」)

◆金メダルを二つ手にしながら、「人生最高の喜びではない」、そう語った人がいる。

「生きてきた人生のなかで五番目にうれしい。子供が四人いるので。」(伊藤智也、北京パラリンピック)-----

このように、著者が採集した文章を綴ったバインダーは300冊を超えるという。

全部読んでみたくなる。